

ウクライナ攻撃ただちに停止せよ

いまの事態
どう考える？

ロシアがウクライナに侵略し、多くの命が奪われています。国連総会は2日、ロシアへの非難決議を圧倒的多数で採択しました。一方、日本ではウクライナ危機に便乗した右傾化の動きが目立っています。いまの事態をどう考えるのか？

ロシアの侵略を抑えるには

「国連憲章を守れ」の一点で声を上げ、力をあわせましょう

国際社会が協調してのロシアへの経済制裁は必要です。同時に何よりも重要なのは「ロシアは侵略をやめよ」「国連憲章を守れ」の一点で力を合わせることです。ロシアはプーチン氏が23年間も首相、大統領を務めるなか、批判派は殺人を含む弾圧を受けています。そのロシアでも反戦デモが全土で展開されています。どんな専制国家も国民の支持がなければ戦争は続けられません。

憲法9条や国連は無力か？

「力の論理」でなく憲法9条の生命力を生かそう

一部メディアや政治家らが「9条で日本を守れない」「国連は無力」と主張しています。この議論は軍拡、「力の論理」信奉に行き着き、これをいま最も野蛮な形で行っているのがプーチン大統領です。そのプーチン氏を「領土的野心はない」と擁護しているのが安倍元首相。「核共有」を議論すべきとも主張し、足並みをそろえています。「力の論理」で対抗することを否定し、平和的解決を主張するのが国連憲章。この精神をとことん追求したのが憲法9条で、「二度と侵略国家にならない」という決意が込められています。

原発攻撃 人類の生存おびやかす犯罪



ロシアは4日、ウクライナ南部ザポロジエにある欧州最大規模の原発の関連施設を攻撃しました。共産党の志位和夫委員長は同日、談話を発表。危険きわまりない攻撃を断固糾弾し、攻撃を直ちに中止することを求めました。

談話では、万一、原子炉が破壊されれば世界規模の大惨事につながる危険があり、人類全体の生存を脅かす犯罪行為になると指摘しています。

ソ連の覇権主義と正面からたたかった党



ソ連共産党の解体時に発表した党常任幹部会声明（1991年9月2日付「赤旗」）

日本共産党は綱領で「どんな国であれ覇権主義的な干渉、戦争、抑圧、支配を許さず、平和の国際秩序を築く」と掲げています。

チェコスロバキア侵略（1968年）やアフガニスタン侵略（79～89年）など旧ソ連による覇権主義に対し、正面からたたかってきました。旧ソ連は、日本共産党にも干渉攻撃を繰り返しましたが、そのすべてと正面からたたかい、結局ソ連は91年に崩壊。歴史的な決着がつけました。

綱領で「どんな国であれ」と強調しているのは、米国だけでなく、中国もロシアも覇権主義を拡大しているからで、ウクライナ侵略はこの指摘通りとなりました。

日本共産党